

平成19年度農村環境保全優良活動コンクール知事賞受賞団体の紹介

うらやまじゅうにくちいきかんきょうまもりたい

○浦山12区地域環境保全隊(黒部市)

農家 20戸、非農家 72戸、農用地面積 47ha

法面管理作業の負担軽減を図るため、2種類の防草シートを利用したヒメイワダレソウの植栽や農協の籾殻マットとハウス育苗した芝を市松模様で植栽するなど、集落全体で取り組める方法を模索し普及に努めている。



かなんだん “えこ” わーくおん

○かなんだん “ECO” work on(魚津市)

農家 43戸、非農家 120戸、農用地面積 35ha

女性の共同活動への参加意識を高めている。中山間地区であり、散見される農道脇等の不法投棄品を回収し、看板を設置するなど環境保全に努めている。また、クマの出没を防止するため、秋口に農用地法面の草刈りを行っている。



ちさとのうそんかんきょうほぜんかい

○千里農村環境保全会(富山市)

農家 97戸、非農家 318戸、農用地面積 56ha

ホタルの生息調査・発表会を実施し、3世代交流を図っている。農業機械の試乗体験を行うなど営農組合と小学生との交流を図っている。農業水路管理マップを作成するなど業務運営の効率化に努めている。



なかりやちいきしげんほぜんかい

○半屋地域資源保全会(立山町)

農家 16戸、非農家 11戸、農用地面積 27ha

年3回の地域ぐるみでの草刈りを実施し、刈草の処理は近隣の厩舎に運搬し、飼料として完全リサイクルしている。また、子供から大人まで幅広く参加し、遊休地を利用して花壇作りを行っている。



みずしましげんほぜんきょうぎかい

○水島資源保全協議会(小矢部市)

農家 173戸、非農家 64戸、農用地面積 160ha

景観形成作物(コスモス、ネマクリーン等)の植栽や用排水路への幼児・高齢者等の水難事故防止看板の設置を行っている。小矢部市最大の活動取組面積であるが、9町内会が連携し円滑な活動推進に努めている。



やぎちくかんきょうほぜんすいしんいんかい

○矢木地区環境保全推進委員会(砺波市)

農家 42戸、非農家 120戸、農用地面積 42ha

混住化が進行しているが、充実した広報誌を毎月発行し活動内容の周知・啓発普及に努めており、広報誌発行を県内に広める先駆けとなっている。また、毎月15日を「環境デー」とし、構成員全員に呼びかけて保全活動を行っている。

